



平成 30 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 和田 節
コード番号 6707 (東証 市場第一部)
問 合 せ 先 執行役員
財務 IR 統括部長 村野 泰史
T E L (048) 487-6121

特別損失の発生並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期第4四半期決算において、事業構造改革費用を特別損失として計上することといたしましたのでお知らせします。これは、第2四半期決算において計上した特別損失に追加して計上するものであります。

また、併せて、最近の市況動向及び受注推移等を踏まえ、平成29年10月25日に公表した平成30年3月期の通期業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生

平成29年10月25日にお知らせしました通り、非戦略市場及び不採算製品からの撤退等の事業構造改革の実施に伴い、当第2四半期に特別損失として事業構造改革費用165億31百万円を計上いたしました。今般、更に撤退分野の見直し並びに棚卸資産の精査を行った結果、棚卸資産廃却を追加することとし、19億65百万円の事業構造改革費用を特別損失として計上することといたしました。

2. 平成30年3月期通期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) 平成29年10月25日公表	百万円 173,000	百万円 10,000	百万円 9,000	百万円 △13,700	円 銭 △113.04
今回修正予想(B)	177,700	11,400	11,200	△12,100	△99.84
増減額(B-A)	4,700	1,400	2,200	1,600	—
増減率(%)	2.7%	14.0%	24.4%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	158,772	5,930	5,026	1,739	14.35

3. 修正の理由

中国のエアコンメーカー向けや韓国の洗濯機、冷蔵庫メーカー向けの白物家電用IC並びに自動車のトランスミッションやパワー・ステアリング用のセンサーあるいはICといった、半導体デバイス製品の販売が好調に推移した結果、売上高が従来予想を上回る見通しとなりました。

損益面につきましては、上記1.を含む事業構造改革の実行に伴う特別損失により当期純損失となる見通しですが、営業利益及び経常利益につきましては、売上増に伴う利益増に加え従来予想での為替前提に比し、年度初めからの実勢平均レートが円安傾向で推移したこともあり、従来予想を上回る見通しとなったことから、今回修正を行うものです。

以 上